

日本顕微鏡学会 走査型プローブ顕微鏡分科会 平成 21 年度研究会

「光プローブ顕微鏡の新たな活躍の場を求めて ～顕微鏡技術の融合と熱物性への応用～」

光によるナノスケールイメージングやスペクトロスコーピーを可能にする光プローブ顕微鏡が今後一層の活躍の場を見出すためには、既存の優れたイメージング分光技術との対比を通してプローブ技術の位置づけを改めて明確にする必要があります。そこで今年度の研究会では、分光イメージングの分野で特に大きな注目を集めているラマンイメージングとプラズモンイメージングを取り上げ、プローブ顕微鏡との融合までを視野に入れた新たな研究の展望が得られることを期待します。また後半では、これまで必ずしもナノ光計測との接点が十分ではなかった熱物性の分野から、ナノスケール相変化とナノ～マイクロの熱物性センシングに取り組んでおられる二名の講師をお招きし、光プローブ技術の新しい展開、技術融合のきっかけとなる議論ができればと考えております。

日時：2009年12月15日(火) 13:30-17:30

会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎2階 大会議室

参加費：一般 2,000 円、顕微鏡学会員 1,000 円、学生無料

問い合わせ先：慶應義塾大学理工学部電子工学科 斎木敏治 (saiki@elec.keio.ac.jp)

【プログラム】

13:30-13:40 開会のあいさつ

13:40-14:30 「生細胞を染めずに見る

～コヒーレント・ラマン分光法によるラベルフリー・マルチカラーイメージング～
加納 英明 (東大院理)

14:30-15:20 「時間分解光電子顕微鏡による表面プラズモンの映像化」

久保 敦 (筑波大物理)

15:20-15:40 休憩

15:40-16:30 「導電性プローブによるナノスケール相変化記録」

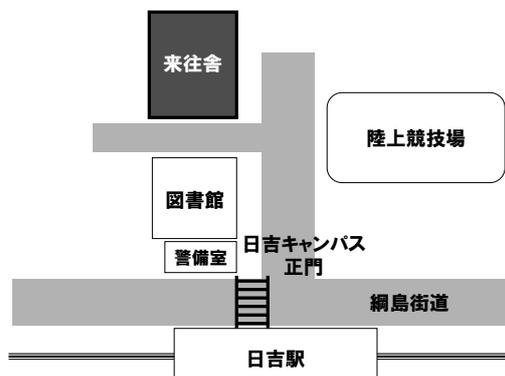
後藤 民浩 (群馬大工)

16:30-17:20 「ナノからマクロまでの光学的熱物性センシング」

田口 良広 (慶大理工)

17:20-17:30 閉会のあいさつ (閉会後懇親会の開催を予定しております)

【会場のご案内】



東急東横線 日吉駅 徒歩3分

横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅 徒歩3分